



# 優れた人材を優れた企業につなげる

Kelly Services社は最新データアーキテクチャで世界の人材需要に対応



「データは新たな通貨です。オンライン面接や履歴書、従業員からの電子メールといったデータソースには、高い価値があります。これまで、そのようなデータのマイニングは非常に複雑でしたが、インフォマティカのソリューションを導入したことで、瞬時に取り込むことができるようになりました。これは、極めてパワフルな機能です」

フィリアス・ルイス (Filious Louis) 氏  
BIアナリティクス担当マネージャー、Kelly Services社

## 目標

最新のデータアーキテクチャを構築して、人材を効果的に管理する

データ量を増加し、スピードを高め、人材紹介を促進する

採用候補者と求人機会の完全なビューを通じて、顧客システムとパートナーシステムのデータをマイニングおよび統合する

## ソリューション

Informatica Intelligent Cloud Services (IICS) と Microsoft Azureにより、マルチクラウドおよびハイブリッドアーキテクチャ向けの最新のコネクテッド人材プラットフォームを提供

インフォマティカとMicrosoft社のテクノロジーの相乗効果により、迅速にアプリケーションを開発し、人材紹介をサポート

Informatica MDMで顧客MDMを構築

## 導入効果

人材関連データを通じて、ターゲットを絞った人材紹介の機会をタイムリーに作成

企業情報、顧客情報、従業員情報、パートナー情報を統合して、人材紹介の整流化を実現

将来の成長をサポートするアーキテクチャを通じて、適切な求人機会を適切な人材に提供することで、人材選定プロセスの高速化を実現

## 業務要件:

- 人材関連データ第一の新しいデータアーキテクチャを作成
- さまざまなマルチクラウドシステムおよびハイブリッドシステムのデータを統合して、唯一無比のソースを構築し、職業紹介をサポート
- より高品質のデータを生成して、求人/求職のマッチング率を向上

## Kelly Services社について

Kelly社は、科学、エンジニアリング、教育、IT、オフィス、コンタクトセンター、軽工業などの業界を対象に、優れた人材と、その人材が持つスキルを必要とする企業を結び付けることを使命として掲げています。進化を続ける労働市場において、常に未来を見据え、古い考え方に縛られることなく、職場であらゆる働き方の価値を享受できるよう支援しています。世界中で約500,000人の従業員を直接雇用しており、人材サプライヤー/パートナーで構成されるグローバルネットワークを活用したアウトソーシング/コンサルティング業務を通じて、多くの人々に職業を紹介しています。

## 導入事例: Kelly Services社

Kelly Services社は、優れた人材と、その人材が持つスキルを必要とする企業を結び付けることを使命として掲げています。進化を続ける労働市場において、常に未来を見据え、古い考え方に縛られることなく、あらゆる働き方の価値を享受できるように支援しています。企業はより多くの採用機会を創り出すことで、より多くの人材を獲得し、より多くの求人を満たすことができます。

Kelly社の顧客が最も重視するのはタイミングです。従業員および企業の採用要件は常に変化しています。あらゆる潜在的なニーズへ対応するために、同社は求人機会と求職機会を均等に提供することに注力しています。

## 量とスピードの価値

Kelly Services社のBIアナリティクス担当シニアディレクター、ラヴィ・ギンジュパリ (Ravi Ginjupalli) 氏は次のように述べています。「当社の使命は、優れた人材と優れた企業を結び付けることです。成否を分けるのは量とスピードです。量とは、どれだけ幅広い採用機会を維持できるか、そしてスピードとは、その機会をいかに迅速に提供できるかです」

量を増やし、スピードを高めるために、同社は人材プラットフォームの基盤となる最新のデータインフラストラクチャを必要としていました。同社はオンプレミスのシステムを使用していましたが、人材派遣市場は周期的な性質を持つため、市場の変化に対応できる柔軟性を必要としていました。そこで目を向けたのがクラウドベースのアプローチです。ただし、既存のシステムを一夜にして停止するのではなく、漸進的に移行することを選択しました。ハイブリッドクラウドアプローチであれば、業務要件に応じて柔軟にスケールアップ/ダウンが可能です。

Kelly社はMicrosoft製品をすでに使用していたため、Microsoft Azureクラウドコンピューティングプラットフォームを検討しました。Microsoft Azureは同社の望む拡張性と柔軟性を備えているだけでなく、セキュリティコンプライアンス、障害回復、事業継続性もサポートしていました。Kelly社は、ハイブリッドクラウドへの第一歩として、レガシーデータウェアハウスをMicrosoft Azure SQL Data Warehouseに移行しました。次に、データ統合とデータ管理に関するオプションについて検討しました。

## 異種ソースからデータを統合

前出のギンジュパリ氏は、次のように述べています。「当社では、世界中の採用データをできる限り迅速にプラットフォームへ取り込んでいます。当社の顧客とサプライヤーはそれぞれ異なるタイプのシステムを使用していたので、これらのシステムを容易に連携し、当社の望むスピードでデータのオンボーディングを実行できるデータ統合ソリューションが必要でした」

データ統合の要件以外にも、Kelly社はデータレイクの構築やデータウェアハウスへの大量データ取り込み、変更データキャプチャ、データの単一ビューを確立するためのマスターデータ管理、データガバナンス、アーカイブなど、データに関連するニーズを抱えていました。これらの課題を解決するため、同社は最終的に7社のソフトウェアベンダーを検討するに至りました。



「日々、より多くの人々に仕事を紹介し、より優れたサービスをコミュニティに提供できるようになったことを誇りに思います。正社員なのか派遣社員なのかに関係なく、誰でも安定を求めるのが自然な姿です。インフォマティカとMicrosoftのお陰で、お客様が求める最高のサービスを提供できる環境が整いました」

#### ラヴィ・ギンジュパリ氏

BIアナリティクス担当シニアディレクター  
Kelly Services社



Kelly Services社のBIアナリティクス担当マネージャー、フィリアス・ルイス (Filius Louis) 氏は次のように述べています。「ありがたいことに、当社のすべてのデータ要件に対応してくれるベンダーを見つけることができました。それがインフォマティカです。インフォマティカは単なるポイントソリューションではなく、ガバナンスからカスタマーエンゲージメントに至る、さまざまな課題に対応できるプラットフォームを提供してくれました」

### 長年にわたるデータの問題を解消

Microsoft社もInformatica Intelligent Cloud Services (IICS) の導入をKelly社に推奨し、IICSに対する信頼感はさらに高まりました。Kelly社が驚いたのは、最初の試用段階において、データ統合マッピングをわずか2時間で完了できたことです。

前出のルイス氏は、次のように述べています。「その瞬間に『これだ!』と思いました。私たちは、まさにクラウドの力を目の当たりにしました。そして、これだけ迅速にオンボーディングを実行できるなら、スケールアップとスケールダウンも当社の望むスピードで行えるはずだと考えました」

Kelly Services社がインフォマティカを選択した理由は、試用で十分な手ごたえを感じただけではありません。

ルイス氏は次のように述べています。「インフォマティカは、オンプレミスとクラウドの両方に強みを持つベンダーです。インフォマティカのソリューションを使用すれば、ハイブリッドクラウドへの移行を容易に達成できると思いました」

ギンジュパリ氏は次のように付け加えています。「当社は、クラウドへの移行を支援してくれるパートナーを必要としていました。インフォマティカは喜んで当社に寄り添い、ともに歩んでくれました。何よりも、当社の目標に献身的に向き合い、望む成果を達成できるように全力で取り組んでくれました」

### インフォマティカとMicrosoft社の相乗効果を最大活用

インフォマティカはMicrosoft社と長期にわたりパートナー関係にあり、両社のプラットフォームの統合性が十分に実証済みである点も、Kelly社にとっては安心材料でした。

ギンジュパリ氏は次のように続けます。「インフォマティカとMicrosoftは、それぞれのプラットフォームとテクノロジーに多額の投資を行っており、ユーザーにその恩恵をもたらしています。両社は製品の統合を通じて、ユーザーが必要とする柔軟性と俊敏性を実現しています」

インフォマティカの担当者はコラボレーションの相手として優れているだけでなく、聞き手としても非常に優れているとルイス氏は評価しています。

「インフォマティカは、データに関するあらゆるニーズや問題に対応するためのSWATチームを組織してくれました。このSWATチームは、当社のフィードバックに基づいてプラットフォームをアップデートしたり、わずか数週間で新機能を展開してくれたりします。双方が協力してソリューションを作り上げているのです」(ルイス氏)



## ソリューションの内容：

- Informatica Intelligent Cloud Services
  - Informatica Cloud Data Integration
- Informatica MDM

「インフォマティカとMicrosoftは、それぞれのプラットフォームとテクノロジーに多額の投資を行っており、ユーザーにその恩恵をもたらしています。両社は製品の統合を通じて、ユーザーが必要とする柔軟性と俊敏性を実現しています」

### ラヴィ・ギンジュパリ氏

BIアナリティクス担当シニアディレクター

Kelly Services社



## 効率性による開発期間の短縮

Informatica Intelligent Cloud Servicesの本稼働開始に伴い、Kelly社の開発者はその機能性を高く評価しました。例えば、Informatica Intelligent Cloud Servicesで開発した成果物は、すべて自動APIを通じて複製できます。もし1,000のテーブルをソースからターゲットへドラッグアンドドロップする場合でも、ドラッグアンドドロップ操作を1回手動で実行したら、後はその操作を複製するだけで自動で実行できます。これにより、開発時間を数千時間のレベルで短縮できます。

人材紹介は高い機密保持性が求められるので、Kelly社にとってはInformatica Intelligent Cloud Servicesのセキュリティ機能も重要でした。開発者は、インフォマティカ関連の作業をKelly社のセキュアなネットワーク内に柔軟に保存できます。その結果、信頼性が高まるだけでなく開発期間を短縮できるため、クラウド移行を速やかに実行することができました。

## 将来を見据えたアーキテクチャ

Kelly社とインフォマティカのパートナーシップはデータ統合だけにとどまりません。データのマスター化、ガバナンス、セキュリティ、アーカイブなどの分野でもコラボレーションを進めています。これらのイニシアチブにより、Kelly社のシステムデータの品質と整合性を高めることができます。

ルイス氏は、次のように述べています。「データは新たな通貨です。オンライン面接や履歴書、従業員からの電子メールといったデータソースには、高い価値があります。これまで、そのようなデータのマイニングは非常に複雑でしたが、インフォマティカのソリューションを導入したことで、瞬時に取り込むことができるようになりました。これは、極めてパワフルな機能です」

最後に、ギンジュパリ氏は次のように述べています。「日々、より多くの人々に仕事を紹介し、より優れたサービスをコミュニティに提供できるようになったことを誇りに思います。正社員なのか派遣社員なのかに関係なく、誰でも安定を求めるのが自然な姿です。インフォマティカとMicrosoftのお陰で、お客様が求める最高のサービスを提供できる環境が整いました」

デジタルトランスフォーメーションによって世界が変化しています。エンタープライズクラウドデータ管理のリーダーであるインフォマティカは、時代をインテリジェントにリードする企業を万全の態勢でサポートすると共に、俊敏性を高め、新たな成長機会を実現するだけでなく、新たなモノを生み出すことさえ可能にする将来への洞察力を提供します。インフォマティカは、企業がこれからのインテリジェントな破壊的イノベーションを推進できるよう、当社が提供するあらゆるサービスを通じてデータの力を継続的に引き出すことを支援します。

### インフォマティカ東京本社

〒105-6226 東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー26階

電話：03-6403-7600（代表） | FAX：03-3433-1021

[informatica.com/jp](http://informatica.com/jp) | [facebook.com/InfJapan](https://www.facebook.com/InfJapan) | [twitter.com/Informaticajpn](https://twitter.com/Informaticajpn)

© Copyright Informatica LLC 2020. Informatica、Informaticaロゴ、およびPowerCenterは、米国およびその他の国におけるInformatica LLCの商標または登録商標です。インフォマティカの商標の最新版は、<https://www.informatica.com/jp/trademarks.html>をご覧ください。その他すべての企業名および製品名は、各社が所有する商号または商標です。本文書に記載されている情報は、予告なく変更されることがあり、現状のまま提供され、明示または黙示を問わず一切の保証を伴いません。

IN05\_0619\_3700